

資金運用収支の内訳

	平均残高(百万円)		利息(千円)		利回り(%)	
	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度
資金運用勘定	446,702	455,644	5,434,573	5,281,211	1.21	1.15
うち貸出金	160,533	161,255	3,089,713	2,988,674	1.92	1.85
うち預け金	99,783	106,285	259,694	270,344	0.26	0.25
うちコールローン	114	55	665	348	0.57	0.62
うち有価証券	184,736	186,125	2,042,789	1,971,778	1.10	1.05
資金調達勘定	416,192	424,533	351,915	394,317	0.08	0.09
うち預金積金	415,720	424,074	345,516	388,240	0.08	0.09
うち借入金	279	245	5,359	4,697	1.91	1.91
うちコールマネー	39	68	275	652	0.69	0.95

(注) 1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高(平成26年度517百万円、平成27年度487百万円)を、控除して表示しております。
2. 国内業務部門と国際業務部門の区別はしていません。

受取・支払利息の増減

	平成26年度			平成27年度		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	92,120	△ 131,047	△ 38,927	103,643	△ 257,005	△ 153,362
うち貸出金	△ 3,830	△ 104,319	△ 108,150	13,379	△ 114,418	△ 101,039
うち預け金	17,250	△ 21,084	△ 3,834	16,539	△ 5,889	10,650
うちコールローン	242	205	448	△ 373	56	△ 317
うち有価証券	15,194	62,049	77,244	14,711	△ 85,722	△ 71,011
支払利息	5,944	△ 19,228	△ 13,284	7,747	34,654	42,402
うち預金積金	5,856	△ 18,670	△ 12,814	7,647	35,076	42,724
うち借入金	△ 651	15	△ 636	△ 647	△ 14	△ 662
うちコールマネー	186	82	269	276	100	377

(注) 1. 国内業務部門と国際業務部門の区別はしていません。

諸比率

	平成26年度	平成27年度
総資金利鞘	0.02	△ 0.02
総資産経常利益率	0.24	0.24
総資産当期純利益率	0.24	0.27
預貸率(期中平均)	38.61	38.02
預貸率(期末)	38.17	37.85
預証率(期中平均)	44.43	43.88
預証率(期末)	44.26	44.36
預金原価率	1.19	1.17
資金運用利回	1.21	1.15
保有有価証券利回	1.10	1.05
資金調達原価率	1.19	1.17

(注) 1. 総資産経常(当期純)利益率 = $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{総資産(債務保証見返を除く)平均残高}} \times 100$
2. 預貸率 = $\frac{\text{貸出金}}{\text{預金積金+譲渡性預金}} \times 100$
3. 預証率 = $\frac{\text{有価証券}}{\text{預金積金+譲渡性預金}} \times 100$

1店舗あたりの預金・貸出金残高

	平成26年度	平成27年度
預金	14,642	14,864
貸出金	5,590	5,627

職員1人あたりの預金・貸出金残高

	平成26年度	平成27年度
預金	1,172	1,217
貸出金	447	461

自動機器設置状況

	平成26年度	平成27年度
自動入出金機(ATM)	94	94
両替機	5	5

退職給付会計に関する事項

◆採用している退職給付制度の概要

当金庫では、確定給付企業年金を採用しております。また、総合設立型の基金である全国信用金庫厚生年金基金に別途加入しています。

●退職給付債務に関する事項

区 分	金 額	
	平成26年度	平成27年度
退職給付債務(A)	1,925,874	1,951,377
年金資産(B)	1,481,983	1,423,314
前払年金費用(C)	-	-
未認識過去勤務債務(D)	-	-
未認識数理計算上の差異(E)	86,311	159,270
その他(会計基準変更時差異の未処理額)(F)	-	-
退職給付引当金(A-B-C-D-E-F)	357,580	368,793

●退職給付費用に関する事項

区 分	金 額	
	平成26年度	平成27年度
勤務費用(A)	116,574	113,486
利息費用(B)	23,082	17,333
期待運用収益(C)	△31,676	△37,050
過去勤務債務の費用処理額(D)	-	-
数理計算上の差異の費用処理額(E)	42,744	32,483
会計基準変更時差異の費用処理額(F)	-	-
その他(臨時に支払った割増退職金等)(G)	-	-
退職給付費用(A+B+C+D+E+F+G)	150,274	126,252

●退職給付債務の計算の基礎に関する事項

区 分	摘 要	
	平成26年度	平成27年度
(1) 割引率	1.00%	0.30%
(2) 期待運用収益率	2.50%	2.50%
(3) 退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準	
(4) 過去勤務費用の額の処理年数	-	
(5) 数理計算上の差異の処理年数	10年(発生年度の職員の平均残存勤務期間内の一定の年数による定額法により、翌期から費用処理する)	
(6) 会計基準変更時差異の処理年数	-	

報酬体系について

1. 対象役員

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象役員」は、理事及び監事(非常勤を含む)をいいます。対象役員に対する報酬等は、職務執行の対価として支払う「基本報酬」及び「賞与」、在任期間中の職務執行及び特別功勞の対価として退任時に支払う「退職慰労金」で構成されております。

(1) 報酬体系の概要

【基本報酬及び賞与】

非常勤を含む全役員の基本報酬及び賞与につきましては、総代会において、理事全員及び監事全員それぞれの支払総額の最高限度額を決定しております。

そのうえで、各理事の基本報酬額につきましては役位や在任年数等を、各理事の賞与額については前年度の業績等をそれぞれ勘案し、当金庫の理事会において決定しております。また、各監事の基本報酬額及び賞与額については、監事の協議により決定しております。

(2) 平成27年度における対象役員に対する報酬等の支払総額

区 分	支払総額
対象役員に対する報酬等	137

(注) 1. 対象役員に該当する理事は7名(うち非常勤2名)、監事は3名(うち非常勤2名)です。
2. 上記の内訳は、「基本報酬」のみであり、「賞与」及び「退職慰労金」の支払いはありませんでした。

(3) その他

「信用金庫法施行規則第132条第1項第6号等の規定に基づき、報酬等に関する事項であって、信用金庫等の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるものを定める件」(平成24年3月29日付金融庁告示第22号)第3条第1項第3号及び第5号に該当する事項はありませんでした。

2. 対象職員等

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象職員等」は、当金庫の職員であって、対象職員が受ける報酬等と同等額以上の報酬等を受ける者のうち、当金庫の業務及び財産の状況に重要な影響を与える者をいいます。

なお、平成27年度において、対象職員等に該当する者はいません。

(注) 1. 対象職員等には、期中に退任・退職した者も含めております。

2. 「同等額」は、平成27年度に対象役員に支払った報酬等の平均額としております。
3. 平成27年度において対象役員が受ける報酬等と同等額以上の報酬を受ける者はいません。